

2024 年度 事業報告書

自 2024 年 4 月 1 日
至 2025 年 3 月 31 日

公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

2024年度 事業報告

2024年4月1日～2025年3月31日

1. 視聴覚障がい者の日常生活の支援 及び 生活支援の援助者養成

(1) 手話放送番組の制作支援

日本テレビ「NNNニュースサンデー」(毎週日曜午前6時15分～6時30分、全国28局ネット)の手話放送に出演する手話通訳士の派遣事業。手話通訳を画面右下にワイプで挿入しています。2024年度も東京聴覚障害者福祉事業協会から推薦を受けた4名の手話通訳士がローテーションを組み、正月休みを除く年間51回の手話放送に携わりました。

(2) 点字カレンダーの製作 及び 無料配布

点字カレンダーは、1976年から制作を始め、全国の視覚障がい者に無料で配布している基幹事業です。点字カレンダーには、月ごとに美しい写真と点字でも表記した写真の解説文が添付されており、晴眼者と視覚障がい者とのコミュニケーションを深めていただく願いが込められています。

2024年度は「風景を感じる」をテーマに2025年版の写真付き点字カレンダーを製作し、日本点字図書館の協力を得て、関東を中心に全国の視覚障がい者の学校・養護施設・福祉関係団体・在宅視覚障がい者に約2万部、また、日本テレビネットワーク各社の協力を得て、それぞれの地域に約2万部を無料配布しました。

(点字製作：日本点字図書館 写真撮影：岩本圭介氏 デザイン：神馬俊二氏)

(3) ラジオから視覚障がい者支援の情報発信と音声図書「日テレ小鳩文庫」の製作

ラジオ番組「小鳩の愛 ～eye～」は視覚障がい者を支援する上で参考となる情報を発信し、視覚障がい者と晴眼者が共に生きていける社会の実現を目指す番組です。2024 年度もアール・エフ・ラジオ日本と富山県をカバーする北日本放送（KNB）で、毎週の土曜日午前8時15分から15分間（KNBでは日曜日午前7時15分から）放送しました。メインパーソナリティは、日本テレビの杉野真実アナウンサーです。

また、番組の連動企画として2023年に製作を始めた視覚障がい者のための音声図書「日テレ小鳩文庫」は、杉野真実アナウンサーの朗読で「必ずできる、もっとできる。」（駒澤大学陸上競技部監督 大八木弘明）を完成させ、日本点字図書館の音声図書ネットサービス「サピエ」等を通じて提供しています。ちなみに、2024年度に製作を始めた市来玲奈アナウンサーによる「ディズニー キズナの神様が教えてくれたこと」（鎌田洋）はこの4月に完成しました。

(4) 「障がい（視聴・聴覚）のある生徒のための進学支援制度」による給付金

障がい（視覚・聴覚）のある生徒で修学の意欲と能力があるにもかかわらず、経済的な理由で大学や専門学校、短期大学等への進学が困難な生徒に対して、進学時に必要な経費を支援する制度です。2024年度は、2023年度の審査で内定者とした23名のうち進学した22名に対して一律80万円の支援金を給付しました。また、2024年度の審査では22名を内定者とし、志望校に合格し実際に進学した18人に対しては、この4月と5月に支援金を給付しました。

(5) 手話スクールの開講と手話の普及事業

「手話スクール」は、手話ができる人を増やし、聴覚障がい者への生活支援に貢献していただくことを目的に、1975年より開講している授業料無料の講座です。2024

年度は、入門編・基礎編の1、2年生、上級編の3年生の96人が参加して、土曜日に神田やお茶の水の会場で年間26回の授業を行いました。

講師： 1年生・2年生 田原 直幸
3年生 久住呂 幸一
助手： 3名 (東京手話通訳等派遣センターより派遣)

また、課外授業として、3月2日、松森果林氏(ユニバーサルデザインアドバイザー)による講演会を開催しました。講演のテーマは「聞こえる世界と聞こえない世界をつなぐ～わたしただからこそ、できることは?～」。

42名が参加し、松森氏の実体験に基いた示唆に富む話に熱心に耳を傾けました。

2. 視聴覚障がい者を支援する団体への助成

(1) 角膜移植・再生医療への助成 (チャリティイベントは中止)

助成先：移植・再生医療を支える会

視覚障がい者治療への貢献を目的とする、角膜移植・再生医療ならびにアイバンクの活動支援と啓蒙のためのチャリティー・イベント「PARTY for VISION」は、2024年度も中止となりました。

(2) 聴覚障がい児の学校への助成

助成先：学校法人日本聾話学校

東京都町田市・山梨県山中湖・長野県南佐久郡で行われた夏期郊外学習への助成を行いました。この郊外学習は、耳の不自由な子供たちが、家族と離れた子供同士の生活を通して、団体生活へのスムーズな順応と身辺自立を図ることを目的に行われるものです。今回は幼稚部から中学部までの児童・生徒36人と引率の先生21人の57人が参加しました。

(3) 視覚障がい者福祉DVDの制作 及び 生活支援活動への助成

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

1) 視覚障害者福祉ボランティア指導用DVD制作への助成

2024年度は、「視覚障害者の就労支援～日本視覚障害者職能開発センターの事業～」をテーマにしたDVD制作への助成を行いました。

2) 下記 視覚障害・就労支援者講演会の出張旅費への助成

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	開催日	場所・内容	対象者	内容	備考
1	7月3日 ～ 7月5日	(富山市) 日本セルフセンター 全国大会	職員・障害者・ ボランティア	福祉講演 映画	ガイドブック 配布
2	8月23日 ～ 8月24日	(松江市) 日本職業リハビリテーション 学会全国大会	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃
3	10月12日 ～ 10月13日	(大阪市) 視覚障害・就労支援者講習会 日本ライトハウス	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃
4	2025年 2月16日 ～ 2月17日	(神戸市) isee!“Working Awards” 授賞式	職員・障害者・ ボランティア	〃	〃

3) 福祉映画利用相談及び貸出諸費への助成

4) 貸出ビデオDVD更新費への助成

(4) 「視覚障害者との接し方」ガイドブックの製作への助成

助成先：社会福祉法人日本盲人職能開発センター

小冊子「視覚障害者に接する人びとのために」は視覚障がい者との接し方をイラストを添えて分かりやすく解説したもの。1万部を製作し、視覚障害者の福祉講演会や映画会会場のほか、都道府県・市町村役場の福祉課にも配布しました。

(5) 点字技能検定事業（検定試験）への助成

助成先：日本盲人社会福祉施設協議会

日本盲人社会福祉施設協議会が主催する点字技能検定試験への助成です。検定試験の目的は、点字関係職種の専門性と認知度を高め、点字の普及と点字の質の向上を図ることです。合格者は、厚生労働省が認定する「点字技能師」の資格を取得し、視覚障がい者施設・団体、専門学校等の講師として活動しています。2024年度の第24回点字技能検定試験は、11月17日（日）に、東京、京都、福岡、仙台の4会場で行われました。

(6) 視覚障害者ケア専門技術認定講習会への助成

助成先：全国盲老人福祉施設連絡協議会

全国の盲老人ホームの職員や在宅福祉に携わるヘルパー等を対象に、視覚障がい者のためのケア技術向上や専門サービス技術の習得を目的とした講習会にかかる費用の一部に使用されます。2024年度は7月に東京都で20人が参加して3日間にわたり開催されました。

(7) その他、下記助成を実施

- ・聾者の団体が主催する野球大会への助成（優勝・準優勝の表彰楯贈呈）

助成先：全日本ろう社会人軟式野球連盟

- ・視覚障がい者が参加するブラインドテニス大会への助成

助成先：日本ブラインドテニス連盟

- ・チャリティー映画会開催への助成（映画のチケット購入）

助成先：社会福祉法人日本聾話学校

- ・東京都盲人福祉大会への助成

助成先：公益社団法人 東京都盲人福祉協会

- ・「本間一夫文化賞」への助成（記念品代）

本間一夫賞とは、日本点字図書館創立者の本間一夫氏（故人）を記念し、視覚障がい者の文化の向上に関する分野で優れた業績をあげた個人・団体を顕彰するために設けた賞。

助成先： 社会福祉法人日本点字図書館

- ・失明予防に関する知識の普及と啓発活動への助成

助成先： 公益財団法人 日本失明予防協会

- ・東京都社会福祉協議会関係会費

助成先： 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

など視覚・聴覚障がい者のための生活支援や支援団体への助成を行いました。

3. 文化及び芸術に関する各種の公演・講座 等

(1) 「グランプリ・コンサート 2024」(公財) 日本室内楽振興財団との共催

若手演奏者の登竜門として3年に1度開催される「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」各部門の優勝者を招聘して開催するコンサート。今年度の出演は第二部門ピアノ三重奏・四重奏で優勝した「カピバラ・ピアノ・クアルテット」(独)でした。

開催日 11月17日(日) トップパン・ホール(東京)

(2) 「想いでの詩^{うた}コンサート2024」

世代やジャンルを超えて歌い継いでいきたい日本や海外の名曲を送り届けるコンサート。今回は徳島市で開催し、洗練された歌声で根強い人気を誇る夫婦デュオ「2VOICE」が、地元の「徳島少年少女合唱団」と素晴らしい歌声を届けました。

開催日 11月4日(月) あわぎんホール(徳島市)

(3) 「スクールコンサート」 企画・開催

その1) 視覚支援学校・盲学校でのスクールコンサート

今年度も各地の視覚支援学校・盲学校で開催し、視覚に障がいのある生徒の皆さんにプロのライブ演奏による音楽の楽しさを肌で感じていただきました。

開催日 10月3日 香川県立視覚支援学校（高松市）

11月28日 石川県立盲学校（金沢市）

その2) 中学生を対象にしたスクールコンサート

中学生をメインの対象に、一流のプロ音楽家のライブ演奏に触れる機会を創るコンサート。2024年度は広島県庄原市で開催し、庄原中学校の皆さんと時代やジャンルを超えた様々な名曲を聴き、共演を楽しみました。

開催日 10月23日 庄原市民会館（広島県）

花岡詠二スキングオールスターズと庄原中学校吹奏楽部が共演

4. 文化及び芸術に関する事業・活動への助成

(1) 第76回 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に対する助成

助成先： 日本学生協会基金（読売新聞協力）

中学生の英語力と弁論能力を高め、国際交流のこれからの担い手を育成することを目的とした英語弁論大会への助成を行いました。